

製品名: GPR17 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11655**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	59kDa

抗原情報

遺伝子名	GPR17
別名	GPR17; Uracil nucleotide/cysteinyl leukotriene receptor; UDP/CysLT receptor; G-protein coupled receptor 17; P2Y-like receptor; R12
遺伝子 ID	2840.0
SwissProt ID	Q13304
免疫原	抗血清はヒト GPR17 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 196-245

背景

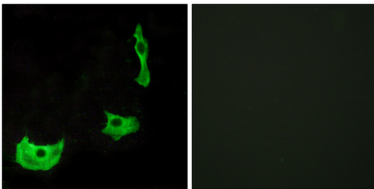
機能: ウラシルヌクレオチドおよびシステイニルロイコトリエン (CysLT) に対する二重特異性受容体。G(i)を介したシグナル伝達と

アデニル酸シクラーゼ阻害。虚血後におけるヌクレオチドおよび CysLT による脳障害を媒介する可能性がある。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 脳、腎臓、心臓、臍帯静脈の内皮細胞に発現。脳で最も高い発現レベルを示す。機能: ウラシルヌクレオチドおよびシステイニルロイコトリエン (CysLT) に対する二重特異性受容体。G(i) を介したシグナル伝達とアデニル酸シクラーゼ阻害。虚血後、ヌクレオチドおよび CysLT による脳損傷を媒介する可能性がある。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 脳、腎臓、心臓、臍帯静脈の内皮細胞に発現する。最も高い発現レベルは脳にある。

研究分野

-

画像データ



GPR17 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。